

会 報 わかくさの風

No.2

社 会 福 祉 法 人 戸 田 わ か く さ 会

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽 1 5 2 2 - 1 わかくさ 内

Tel 048-432-8198 Fax 048-432-8298 <http://www.wakakusa-kai.com/>



↑ 合同入所式の様子

平成 26 年 4 月 4 日に合同入所式を行いました。11 名の新たな仲間と共に、戸田わかくさ会の明日の 10 年を築いていきます。

戸田わかくさ会は今年の 12 月で社会福祉法人化して 10 年になります。この 10 年、障害のある人々の願いを実現するために全力疾走してきました。しかし、ゴールはまだ見えていません。障害者権利条約の批准などの環境要因を理解しながら、利用者にしっかりと向き合っていかなければなりません。「命の大切さ」「生きることの大切さ」を土台にしながら、たった一

明日の 10 年に向かって 未来志向

度の人生を一人ひとりが全うできるようにしたいと願っています。そのために、今、法人は 26 年度から 30 年度までの中長期計画の策定作業に取り組んでいます。居宅介護事業所、グループホームの整備などが話題になっています。「出来ない」という発想から「出来る」ための知恵とチームワーク、そして、「覚悟」を持つことで、利用者、家族、地域の皆さん、ボランティア、職員が心を一つにして、前に向かって走り続けたいと思います。

「前に向かって走る！」心地良い風を感じることが出来ます。利用者と共に笑顔でゴールを目指したいと思います。

(統括施設長 竹嶋 紘)

**法人化 10 周年の記念式典
平成 26 年 11 月 15 日 (土)
開催いたします。**

「ぼくらのありがとうコンサート in とだ」を開催します

この「ありがとうコンサート」は戸田市内の事業所等に通っている障がい者の皆さんを中心に市内の音楽団体やボランティアや地域の皆さんと一緒に協力してつくりあげようという戸田市で初めてのコンサートです。また、主催は「コンサート実行委員会」で事業所の代表等で構成し、戸田わかくさ会も一緒に参加しています。

5月27日ににじの社会議室にて第1回コンサート実行委員会が開催され、実質的にコンサートの準備がスタートいたしました。コンサートは11月15日(土)戸田市文化会館ホールにて午後2時30分開演の予定です。

実行委員会委員長には戸田わかくさ会の竹嶋統括施設長が選ばれ、名称も「ぼくらのありがとうコンサート in とだ」と決定いたしました。このコンサートの趣旨は、障害

者が自ら内容を企画し、運営、参加をしていくことを最大のねらいとしています。また、コンサートの名称は障がい者たちが日常生活においてたくさんの人たちに支えられていますので、その感謝の意味も込められています。これまで障がい者が自身のことを発表する機会は限られていましたので、企画としては画期的なことではないでしょうか。

演奏会の内容は二部構成で一部は事業所や個人の発表、二部は全員が舞台上がり、大合唱をする予定です。なお、現在曲目の選定や内容を利用者の皆さんとで検討中です。コンサートの最後にはAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を全員で踊ります。楽しみです。

そして、これからボランティアや運営スタッフの募集も予定しています。また、大合唱では合唱団の皆様

さんにもお声をかけていますが、特に一般市民の方々、一緒に参加しませんか。うまいへたは問いません。老若男女を問わず学生さんでもお子さんでも結構です。どうぞ事務局までご連絡ください。

本番に向けて、今後いろいろな場所での練習や会合が開かれる予定です。ホールは1200人規模の大ホールですので、客席をいっぱいにしたいですね。楽しい演奏会になることを期待しています。

皆様方の暖かいご支援、ご協力をお願いいたします。詳しいことは、下記コンサート事務局までご連絡ください。(鈴木利)



戸田市在住の障がい者たちが自身の手による
ぼくらの
ありがとうコンサート
in とだ
美しい音楽と歌とパフォーマンスと大合唱です。私たちの障がい者も活躍します。

日 時 2014年11月15日(土)
開 場 午後2時 開演 午後2時30分
会 場 戸田市文化会館 ホール
内 容 「明日に向かって」 パフォーマンスと大合唱
出 演 市内の事業所に通う障がい者ほか
戸田市の音楽団体・ボランティアの皆さん
入場料 前売り 500円 当日券 指定席800円
問い合わせ ありがとうコンサート実行委員会事務局 (戸田わかくさ会 かがやき 担当)
TEL 048-471-9331 F&E: arigatoutodaka@yahoo.co.jp
主催 ありがとうコンサート実行委員会

《 ぼくらのありがとうコンサート in とだ 》

- 日 時 2014年11月15日(土)
- 開 場 午後2時
- 開 演 午後2時30分
- 内 容 パフォーマンスと大合唱
- 出 演 市内の障害者事業所、音楽団体、ボランティアの皆さん
- 入場料 前売り(自由席)500円(指定席)800円・当日券(自由席)800円
- 問い合わせ コンサート実行委員会事務局 (471-9331 かがやき 担当 鈴木)



明日への新たな一歩

(わかくさ)

4月に生活介護5名、就労継続支援B型に2名の計7名が新たにわかくさのメンバーに加わりました。特別支援学校を卒業し、社会人として新たな一歩を踏み出した7名ですが、戸惑いながらも先輩利用者の背中を追いかけながら、日々前を向いて歩んでいます。

働く仲間

生活介護のグループでは、アルミ缶の回収を仕事として行っています。初めは何をしたら良いのか分からなかったSさんも、先輩利用者の作業を見て真似て、上手にアルミ缶を運ぶことが出来るようになりました。少しずつですが仕事をするこ

●仲間たちとの出会い

新しい環境はとても刺激的。その中でも新しい仲間との出会いは、

「協力し合う」という新しい力を生み出しています。新規利用者が加わり、先輩として働く利用者たちも頼もしく見えます。

帰り際、「また明日も頑張ろうね。」と言いつつ姿はとても微笑ましく、支援員も働く仲間の一員として「頑張ろう。」と思える瞬間です。

●これから目標

就労継続支援B型のグループではHさんが駅前清掃の練習を開始しました。清掃メンバーとともに北戸田駅前の清掃を行っています。

決められた時間内に掃き掃除、灰皿掃除、除草作業を行うことは、時間との勝負でもあり、更に「きれいに整える」仕事です。これから暑さも厳しくなりますが、地域の中で活動させて頂いている毎日に感謝し、利用者と支援員が力を合わせて、より一層きれいな「北戸田駅前」を目指します！

(塩谷)



新しい仲間を迎えて

(ゆうゆう)

4月からゆうゆうに2名の利用者が加わりました。

*見通しを持てたIさん

Iさんは、駅前清掃と、雑誌の付録や袋等を分別する「袋はずし」、ウエスの仕事にかかわっています。

ゆうゆうで働き始め、守るべきルールや生活のリズム等、これまでに経験したことのない約束ごとが増えて、4月当初は慣れない生活の中で、なかなか仕事に向かえないこともありました。

その日の作業を絵カードを使って説明を行うこと、次の動作を前もって声掛けすることで見通しを持つことが出来ました。このことで安心して生活出来るようになり、穏やかに過ごせる日が増えてきています。

最近では集中して働く姿に、先輩の利用者からも認められるようになっていきます。

*仲間とお話が楽しいKさん

もう一人は、ウエスたたみの仕事

を頑張っているKさんです。初めは、ゆうゆうでの生活や作業に慣れずに不機嫌になることがよく見られました。しかし、作業にも慣れ、ゆうゆうの仲間との会話も入所してきた時よりたくさん増えていきます。笑顔も多く見られるようになりました。4月当初は、家族と一緒に通所していましたが、今では本人の希望で1人での通所に挑戦中です。

*みんなで成長

新しく入所した2人ももちろんですが、ゆうゆうの先輩たちも新しい仲間の見本になるようにと、真剣に仕事に向かうなど、刺激を受け、成長しているように感じます。仲間同士が共に支え合うことで可能性をどんどん広げ、生活を豊かにすることにつながればと思います。

(土岐)

とだ共同受注センターにて

6月より夏の風物詩、環境うちわの作成が始まりました。戸田競艇場、戸田ふるさと祭りなど、夏の様々な会場で配布されます。市内複数の福祉作業所で一枚一枚手作りにしています。今年も市民の皆さんにやさしい風をお届けします。

そうじ道具は自分たちで準備しています！ (かがやき)

■準備も大切な仕事

『自分たちの仕事は自分で準備をする』。昨年度より始まったわかすの清掃業務では、当初は職員と一緒に道具の準備をしていましたが、準備も仕事のうち！ということでもなさん自身で準備をするようにしました。



■確認の仕組み作り

わかすき清掃は4名1チームで取り組んでいます。人によってわかりやすいものはまちまちです。

そこで、道具のリストを作成しました。文字だけではなく写真を横にのせ自分の得意な方で判断できるようにしました。また忘れ物がないようチェック欄を作り、みんなで確認できるよ

うにしました。一人ががんばるのではなく、チームとして取り組む意識も養います。

リストという道具があることで、利用者の方が自分たちで、作業の準備をする意識をもつようになりました。

他の作業にも応用して、みなさんの自ら出来る力を引き出す支援を、していきたいと思っています。

(寺内)

日付	作業内容	行	き	掃	り	行	き	掃	り
6/1	マルチタケン	1	1						
6/2	ダストモップ	1	1						
6/3	水モップ	1	1						
6/4	じざいほうき	1	1						
6/5	外ほうき	1	1						
6/6	小さいほうき	2	2	2	2	2	2	2	2

地域にぞう！

グリーングラス(グループホーム)

◆新しい仲間

4月中旬からグリーングラス上戸田にSさんが入居しました。かがやきで、ホームを利用していらっしゃる方の話を聞き、楽しそうなので以前から入居したいと思っていたそうです。ホームでは「洗濯や掃除を自分でやりたい！」と張り切っています。先

日歓迎会があり、みんなでカラオケに行ってきたさん歌ってきました。

◆530(ゴミゼロ)に参加

6月1日(日)にグリーングラス上戸田とグリーングラス第2上戸田が530(ゴミゼロ)運動に参加しました。当日ホームにいた入居者みんなで各ホームの周りのゴミ拾いや除草を行い、町会の収集場所に届けてきました。参加した人からは「楽しかった」「またやりたい」「ゴミの袋を運ぶのが遠かった」「次は参加したくない」などいろいろな感想がありました。自分たちの住んでいる地域を、地域の人たちと一緒にきれいにするために、年4回のこの地域活動をこれからも続けていきます。

◆地域でのイベント



4月に戸田ロータリークラブのご招待を受け、お花見に行きました。満開の桜の下でしたが、みななはまさに「花より団子」という感じでした。ロータリークラブのみなさま、ありがとうございました。

また、ゴールデンウィークには道満グリーンパークにてホーム交流会「バーベキュー」を行いました。入居者が自ら焼きそばを上手に焼いてみんなにふるまう姿やほかの人に気を遣うやさしい姿を見て、世話人から「ホームにいる時とは違う一面が見られた」「これまでもついていた入居者の理解と違うと感じた」等の話があり、世話人にとっても利用者の力を新たに発見するこ

(礪波)



戸田わかぐさ会勉強会を開催

〜わかばとつこの願い〜

(障害者生活支援センターわかば)

6月28日に「親の5年後、こどもの5年後、いっしょに考えよう!」と題した勉強会をわかばで行いました。

わかばに寄せられる相談の中で、「親が元氣な間に、子どもの将来の生活を整えたい」という親御さんの願いは少なくありません。でも何をどうしてよいのか分からない。我が子の子供を見ると、あんなこともこんなことも心配…。親元を離れてちゃんと生活できるのかしら、支援員さんはこの子のことをちゃんと分かってくれるのかしら…。尽きない心配事が山積みです。

★一歩ずつの前進

そんな声を聞く中で、「じゃあ、みんなで一歩ずつ前進しよう!」とわかば発信でわかば会全体で取り組むこととなったのが、この勉強会です。第1回の勉強会は、講師から多くの心強い実践をお話しても

らい、明るい希望を抱いて家に帰る…という企画だったのですが、いかがだったでしょうか。

第2回はお金の話、第3回はグループホームの見学です。参加する方が思い描く暮らしに近づくための一歩を見い出せるような勉強会にしていきたいです!

一方で、わかばには他の支援機関から、「単身の障害を持つ人で、住む場所に困窮している人がいるんだけど」という相談も寄せられています。アパートで一人暮らしという方法もあります。でも様々な理由で一人で暮らすことが難しい方もいます。

★今の支援が次の支援に

ある一人のために生み出された支援は必ず次の誰かの支援に繋がります。こうした困窮した方たちを支援することで、戸田に新たに資源が生み出されます。そう願い、信じながら、戸田に一つでも多くの障害を持つ方たちを支える仕組みができるよう頑張りましょう!

(浜田)

新入社員奮闘中!

(戸田市障害者就労支援センター)

♣4月16日入社です!

M子さんは特別支援学校を卒業し今年の4月からOlympic朝霞台店に勤務しています。所属は青果部門で、売り場での品出しやパッキングでの袋詰め作業を行っています。

♣挨拶は完璧です!

学生時代にバスケットボールで鍛えた体力と持ち前の明るさで、職場でも高い評価をいただいています。特に挨拶は「店舗全体でも上位ですよ」と店長からお褒めの言葉をいただきました。

♣目標は高く!

M子さんのこの先の目標は、お客様対応が出来るようになることです。朝霞台店では特別支援学校を卒業して就職した先輩たちが、それぞれの売り場で活躍しています。その姿を見て、早く自分も先輩たちに追

いつきたいと思いい日々努力をしています。

♣店長からひとこと!

学生時代の実習中から、早く卒業して当店に来て欲しいとずっと待っていた。やっと来てくれた大事な大事な戦力です。

職場での評価がM子さんの活力につながっています。これからの活躍をますます期待します。

(長谷川)



地域に創出された

新しい資源との連携

(障害者就業・生活支援センターみなみ)

当センターで支援している方の約1割が発達障害の方です。青年・成人期になり、就学や就労が上手くいかずに当事者や家族が医療機関にかかわり発達障害に気づかれる方もいます。発達障害の診断を受け、ご自身やご家族が障害の理解や受容していくには、長い時間が必要になる方もいます。みなみの相談の中でも、相談者と面談や事業所見学等を行いながら、訓練機関に結びつけるまでに1年以上の継続した相談をしていることがあります。

◆「その人」に合わせた支援

就労を目指す上で欠かせないことは障害の受容と自己理解です。その人がどんなことができて、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかなど、「その人」を一緒に知っていくことが必要です。個々の希望や個性に合わせた就職活動、訓練が必要な方には訓練プログラム、自身のナビ

ゲーションブックを作成、様々な就労場面を想定した模擬訓練などが必要です。発達障害者の訓練に特化した機関としては埼玉障害者職業センターと国立障害者リハビリテーションセンター等があります。

◆全国初の事業

6月には埼玉県が「発達障害者就労支援センター」を川口市と草加市にオープンしました。就労を希望する発達障害のある方に対して相談から職業訓練、就労、定着支援までの支援をワンストップで行う全国初の事業です。当センターからも数名の方が訓練を受ける予定です。

◆より深まる地域連携

このように、発達障害者に関わる就労支援の新しい制度や流れが出来るつつあります。みなみは、圏域内の就労支援における広域的役割として、地域の関係機関と連携を深め、より良い支援環境の構築を目指していきます。

(山本)



新任職員紹介

わかくさの新しい風です!



久保田崇です。わかくさ生活支援員として入職しました。前職は都内の障害者福祉センターにて身体介護の職についており

ました。

戸田わかくさ会では利用者の皆さまの夢や希望を叶えるお手伝いが出来る職員になれるよう頑張りたいと思っています。

何分初めてのことばかりで、いろいろご指導いただくこともあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(久保田)

パワーをもらっています



5月より福祉作業所かがやきに入職いたしました、山内朋子と申します。出身は北海道で、現在は夫と娘3人と板橋区

に住んでいます。

かがやきで働き始めて早一ヶ月が経ちましたが、毎日利用者のみなさんにパワーをもらい、悩んだり笑ったり、出合いのすばらしさに感謝しています。

日々勉強中ですが、早く一人前の職員になって皆さんのお役に立ちたいと思います。精いっぱい努めますのでご指導よろしくお願いいたします。

(山内)

新しい環境での福祉



5月よりみなみに入職しました新井久美子と申します。前職では障害者施設の支援員で就職支援・作業指導・生活訓練等をして

いました。私自身も勉強しながら、知識や情報を取り入れ、障害を抱えた方の支援だけでなく、関係機関や地域の方々に障害を理解してもらえような情報を発信して行きたいと思っています。また、就業支援員として一人でも多くの方が就労できるように支援したいと思っています。よろしくお願いします。

(新井)

平成26年度合同入所式 戸田わかくさ会に 新しい風が吹きます

去る平成二十六年四月四日、桜の花が咲く中、平成二十六年度、戸田わかくさ会合同入所式を、わかくさ食堂で開催致しました。

●新たに11名の仲間

今年度の新規利用者は、わかくさ七名、ゆうゆう二名、かがやき二名の総勢十一名の新しい顔が揃いました。

かがやきの利用者、佐藤さんの進行のもと、戸田わかくさ会 横山理事長の挨拶、来賓としてご臨席頂いた戸田市福祉部長 松山様、戸田わかくさ会後援会長 斉藤様から、お祝いの言葉を頂きました。



また戸田市福祉部次長 山中様、障害福祉課課長 吉野様、障害福祉課主幹 川上様、障害福祉課副主幹 小林様にもご出席頂きました。

新規利用者の紹介は、各施設長から行い、一人ひとり名前を読み上げ、元気に返事をして頂きました。

●先輩からの歓迎

続いて、在籍利用者からの歓迎の挨拶を、ゆうゆうの岸さんから頂きました。昨年、利用を開始してからの一年間、頑張ってきたことや楽しかったことを、後輩に語って頂きました。



●新規利用者からの抱負

最後は新規利用者代表として、かがやきの鈴木さんから、これからの抱負を語って頂きました。

これから、わかくさ会の一員として、様々な場面で活躍していくと思いますので、よろしく願います。

(和田)

実践報告会 戸田わかくさ会の実践を知ってください！

4月19日に平成25年度実践報告会が行われました。平成20年度から始まり、今回が6回目となりました。実践報告会とは、各事業所で行われている支援や取り巻く環境について職員それぞれが考え、1年間、実践したものを発表する場です。今回は、法人の理事・評議委員、戸田わかくさ会を利用されているご家族も招いて開催しました。



1部の全体発表では相談・就労支援事業所からの発表でした。一つ目は、一人の方の生活を戸

田わかくさ会の事業所だけでなく、他の機関との連携の中で、ネットワーク化しながら支援している事例と、二つ目に戸田市の精神障害の方を取り巻く現状と課題についての

発表でした。

2部は、分科会として、法人内にある3つの事業所からの発表を、参加者が選択して聞きました。

全体会では、「それぞれの連携の様子がわかって参考になった」「今の戸田市の精神障害者の方の状況を知れてよかった」、また、分科会では、事業所での具体的な取り組みを聞き、質問が飛び交う様子が見られていました。ご参加いただいたご家族の方からは、「説明がわかりやすかった」「共に子供の成長を支援していけるように頑張りたいと思います」などの感想をいただきました。

今後も、支援の質の向上や地域との連携など課題はありますが、それぞれが自信を持って伝えられるような実践に取り組み、互いの理解や連携を深められるような場になればと思います。

(宮國)



わかくさ会のアーティスト

『赤いスイートピー』を

口ずさみながら

歌手・松田聖子さんの『赤いスイートピー』をくちずさみながら描く坂本すみえさんは、その手を一度も止めることなく何枚もの作品を一気に描き上げます。

平成二十四年度にはその豊かな色彩感覚が生み出す作品が高く評価され、埼玉県障害者アートフェスティバルのアート展に入選、埼玉県立近代美術館で作品六点が展示されました。さらに、平成二十四年度には六月の一个月間、武蔵野銀行戸田西支店様のロビーで作品を飾らせて頂きました。

今後の活躍もご期待ください。



【熊谷・八木橋百貨店にて展示！】

八木橋百貨店で八月二十日から二十六日開催される『アンプかわいいサミット』に戸田わかくさ会も出展します！

お知らせ

戸田市障害者就労支援センター
利用説明会のお知らせ

就労支援センターの利用方法や支援内容等をわかりやすくご説明いたします。

■日時 7月24日(木) 14時～15時

■場所 戸田市福祉保健センター講習室2

■対象者 市内在住の障害をお持ちの方およびその家族・支援者

■定員 20名

■費用 無料

■申し込み・締め切り期日

電話またはファックスにて

(TEL) 471・9333

(FAX) 471・9334

7月18日(金) 午後5時まで

『親の5年後、子どもの5年後
一緒に考えよう』

戸田わかくさ会勉強会(第2回)

障害者生活支援センターわかばの欄で紹介した勉強会の第2回目です。1回目に参加されていない方でも、ご興味のある方は是非ご参加下さい！

■第2回テーマ「お金のこと」

講師 竹嶋紘 統括施設長

■日時 7月12日(土) 13時～15時

■会場 わかくさ会議室

■参加費 無料

■申し込み

わかば又はご利用のわかくさ会各事業所まで

■問合せ先・障害者生活支援

センターわかば

(TEL) 446・6785

(FAX) 446・6752

販売できる場所探しています
～福祉作業所ゆうゆう～

ゆうゆうの和菓子は、皆様の温かいご協力により前年度を大幅に超える売上をあげることができました。訪問販売の機会をいただくことで、より多くの方にゆうゆうの和菓子を知っていただくと考えています。先日は皆様のアドバイスから特別支援学校で販売させていただくことになりました。しかし、まだまだ訪問販売ができる場所が足りないのが実情です。訪問販売できる場所を募集しています。是非情報をお寄せ下さい。



7月の新商品
青梅どらやき
是非ご賞味下さい。

【問い合わせ先】

☎ 048・433・4006

担当…穴戸まで

(法人の運営する事業所)

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、グリーングラス、障害者生活支援センターわかば、戸田市障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ

(ホームページはこちら)

<http://www.wakakusa-kai.com/>

【発行】

社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 戸田市新曽 1522-1

TEL048-432-8198 fax048-432-8298

編集後記

今月号から広報委員会が会報の企画・編集を行うことになりました。不慣れですが、戸田わかくさ会のことをたくさん発信していきたいと思っています。温かく見守って下さい。ご意見・ご感想をお待ちしております。(酒)

★法人の主な予定★

8月2日(土) 花火を見る会(ゆうゆう)

10月5日(日) 地域福祉まつりエコステーション参加(かがやき)

10月24日(金) わかくさ日帰り旅行

10月30・31日 ゆうゆう一泊旅行

11月15日(土) 戸田わかくさ会法人化10周年記念式典(法人全体)

12月25日(木) 利用者忘年会

(ゆうゆう・わかくさ)